

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024年 第2週 (1月8日~1月14日)

## ＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	
E型肝炎	1人 推定感染地域 国内
デング熱	1人 推定感染地域 スリランカ
レジオネラ症	1人 病型 肺炎型
五類感染症	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 2人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1人
急性脳炎	3人 病原体 インフルエンザウイルスA型 1人、 病原体不明 2人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9人 血清群 A群8人、B群1人
梅毒	8人 病型 早期顕症Ⅰ期 4人、 早期顕症Ⅱ期 2人、 無症候病原体保有者 2人
百日咳	1人 年齢階級 30歳代

## ＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(6.51→9.26:図1-1~2)は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では県内17保健所管内中、16保健所管内で前週の値を上回り、特に幸手(17.93)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は75人(前週42人)であり、前週と比較して大きく増加した。年齢階級別では70歳以上で全体の5割を超えている。

## ＜定点把握対象疾患の患者情報＞

インフルエンザ(13.93→15.88:図2-1~4)の定点当たり報告数は、前週と比較し同水準であったものの、依然として多い状況が続いている。保健所別では南部(29.25)保健所管内からの報告が多く、県内17保健所管内中、14保健所管内で定点当たり報告数10.00を超えている。咽頭結膜熱(2.20→1.48:図3-1~2)の定点当たり報告数は、前週と比較し減少したものの、例年同時期と比較して高い水準にある。保健所別では、南部(4.60)、春日部(3.67)、幸手(3.56)保健所管内からの報告が多く、定点当たり報告数3.00を上回っている。年齢階級別では、1~5歳の報告が多い。感染性胃腸炎(3.31→7.20:図4)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、春日部(17.17)、南部(14.00)保健所管内からの報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.30→2.99)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、南部(11.40)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎26人の報告があった。基幹定点報告疾患では、インフルエンザ(入院)(図2-4)19人(前週22人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第2週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図 1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

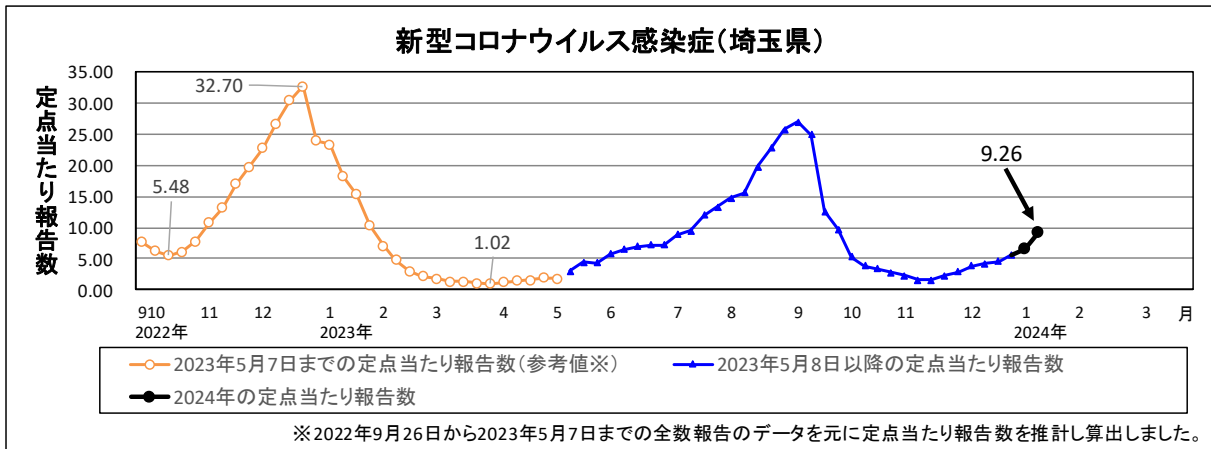
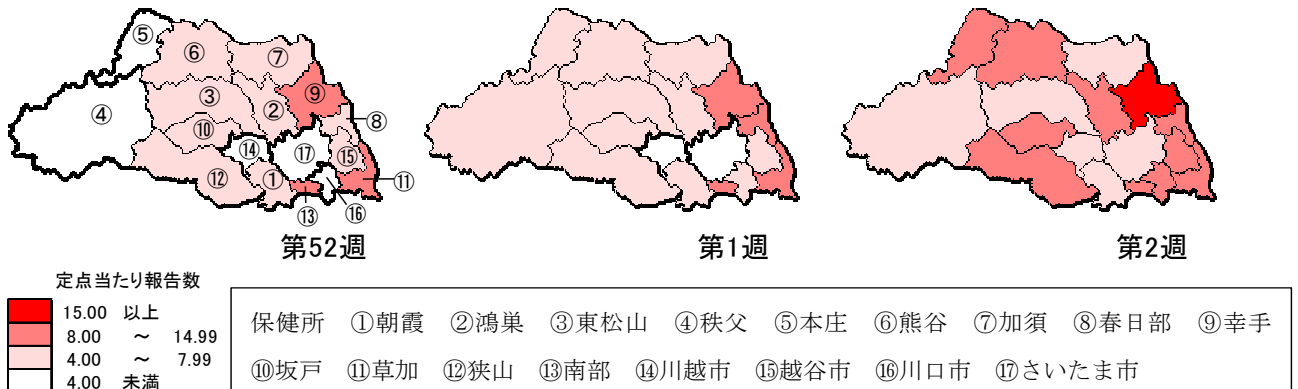


図 1-2 新型コロナウイルス感染症の保健所別流行状況の推移（2023年第52週～2024年第2週）



<インフルエンザ流行情報（第2週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図 2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

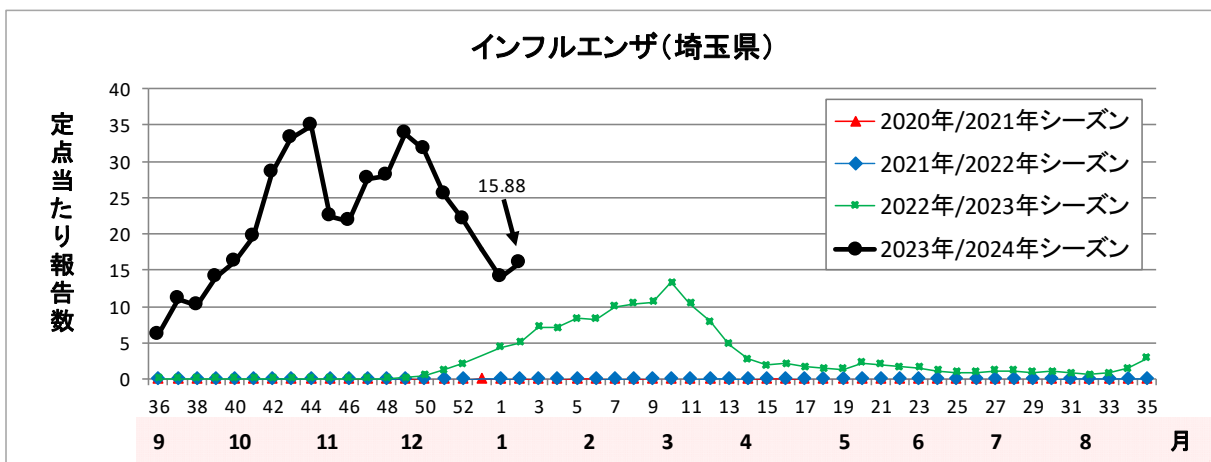


図 2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移 (2023 年第 52 週～2024 年第 2 週)

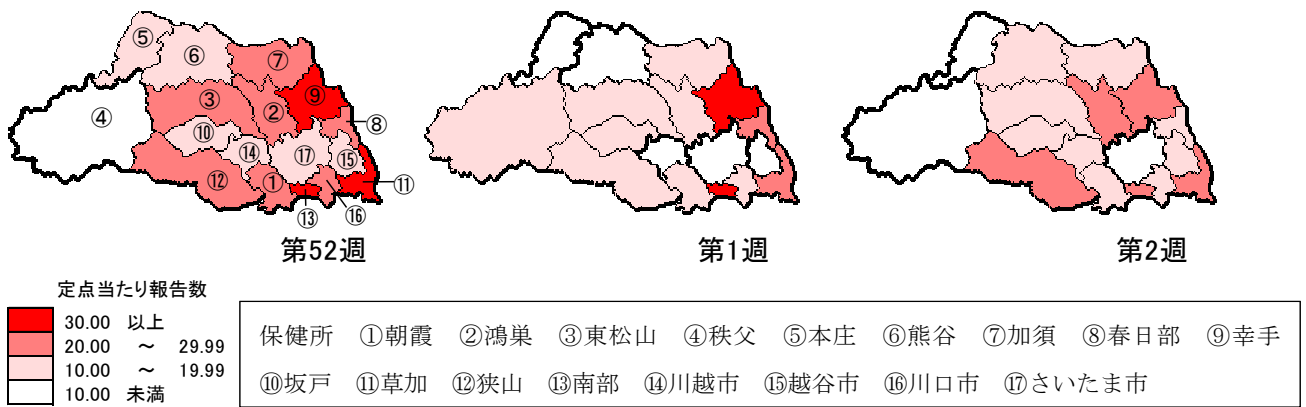
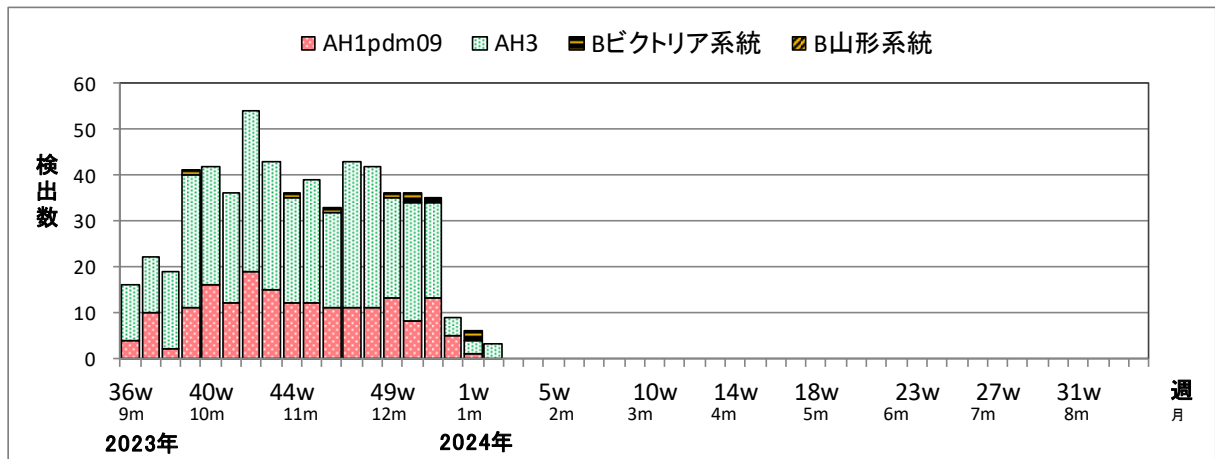


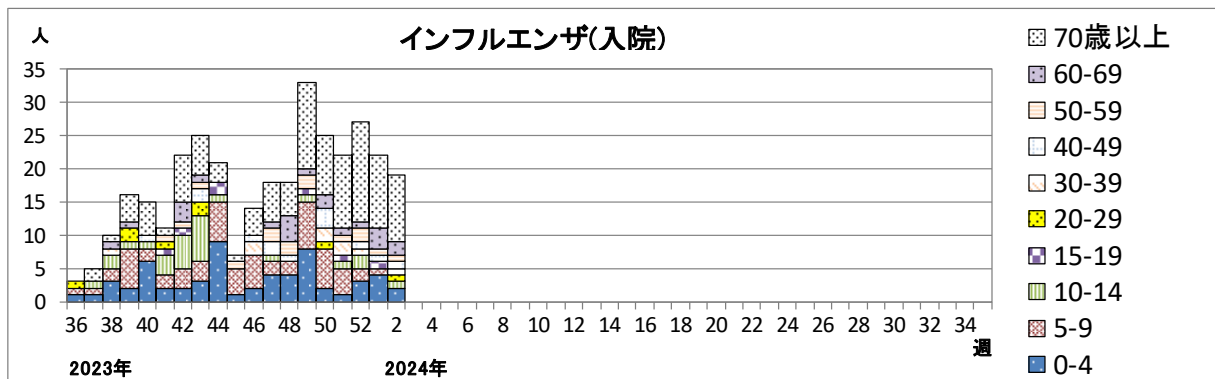
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2023 年第 51 週～2024 年第 1 週 (2023 年 12 月 18 日～2024 年 1 月 7 日) の 3 週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別の終了した 50 検体は、AH3 型が 28 件 (56.0%)、AH1pdm09 型が 19 件 (38.0%)、B 型 (ビクトリア系統) 3 件 (6.0%) でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ (入院) の年齢階級別報告数





感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第2週)

(2024年1月16日 15:00)

	今週 届出	累 計	2023年 累計		今週 届出	累 計	2023年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 *1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			3
細菌性赤痢			9	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症		1	167				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎	1	1	43	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱		1	
エムポックス			5	日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	2	112
つつが虫病			3	レプトスピラ症			
デング熱	1	1	9	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢			28	侵襲性肺炎球菌感染症		1	80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			7	水痘(入院例に限る)			13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	3	71	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			6	梅毒	8	13	462
急性脳炎	3	2	39	播種性クリプトコックス症			7
クリプトスポリジウム症				破傷風			4
クロイツフェルト・ヤコブ病			8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9	13	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群			32	百日咳	1	1	79
ジアルジア症			3	風しん			1
侵襲性インフルエンザ*菌感染症			9	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

		感染症発生状況(定点把握対象疾患)					報告患者数		保健所別		(2024年第2週 1月8日~1月14日)												
保	健 所	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)	新型コロナウイルス感染症(入院)	
		#1	感染症	感染症																			
全	県	報告数	4,145	2,416	7	242	491	1,181	41	12	3	28	4	7	1	26	-	-	-	-	-	19	75
		定点当たり	15.88	9.26	0.04	1.48	2.99	7.20	0.25	0.07	0.02	0.17	0.02	0.04	0.02	0.63	-	-	-	-	-	1.58	6.25
朝	霞	報告数	340	164	-	13	50	95	5	1	1	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	7
		定点当たり	14.78	7.13	-	0.87	3.33	6.33	0.33	0.07	0.07	0.13	-	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	7.00
鴻	巣	報告数	430	226	1	31	47	106	1	4	-	4	-	-	-	6	*	*	*	*	*	*	*
		定点当たり	22.63	11.89	0.08	2.58	3.92	8.83	0.08	0.33	-	0.33	-	-	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*
東	松山	報告数	124	37	1	3	7	29	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
		定点当たり	15.50	4.63	0.20	0.60	1.40	5.80	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00
秩	父	報告数	46	27	-	3	7	-	1	1	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
		定点当たり	9.20	5.40	-	1.00	2.33	-	0.33	0.33	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本	庄	報告数	42	56	-	4	2	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
		定点当たり	6.00	8.00	-	1.00	0.50	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
熊	谷	報告数	135	144	-	18	19	57	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	11
		定点当たり	10.38	11.08	-	2.25	2.38	7.13	-	0.13	-	0.13	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	11.00
加	須	報告数	107	72	-	3	13	5	4	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	3
		定点当たり	10.70	7.20	-	0.50	2.17	0.83	0.67	-	-	0.17	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	3.00	3.00
春	日部	報告数	156	116	2	22	25	103	3	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
		定点当たり	15.60	11.60	0.33	3.67	4.17	17.17	0.50	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸	手	報告数	296	251	-	32	51	36	1	-	-	1	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
		定点当たり	21.14	17.93	-	3.56	5.67	4.00	0.11	-	-	0.11	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
坂	戸	報告数	117	92	1	3	10	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21
		定点当たり	11.70	9.20	0.17	0.50	1.67	8.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	21.00
草	加	報告数	431	258	-	9	22	81	4	-	-	2	1	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
		定点当たり	22.68	13.58	-	0.75	1.83	6.75	0.33	-	-	0.17	0.08	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭	山	報告数	554	263	-	23	50	86	5	-	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	4	3
		定点当たり	22.16	10.52	-	1.44	3.13	5.38	0.31	-	-	0.06	-	0.19	0.20	-	-	-	-	-	-	4.00	3.00
南	部	報告数	234	107	-	23	57	70	2	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	5
		定点当たり	29.25	13.38	-	4.60	11.40	14.00	0.40	-	-	0.60	-	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-	2.00	5.00
川	越市	報告数	179	63	-	5	17	47	2	-	-	3	-	1	-	3	*	*	*	*	*	*	*
		定点当たり	12.79	4.50	-	0.63	2.13	5.88	0.25	-	-	0.38	-	0.13	-	3.00	*	*	*	*	*	*	*
越	谷市	報告数	234	170	-	3	22	55	7	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
		定点当たり	18.00	13.08	-	0.38	2.75	6.88	0.88	0.25	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	4.00
川	口市	報告数	304	177	-	16	39	121	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	8
		定点当たり	15.20	8.85	-	1.23	3.00	9.31	-	0.08	0.15	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	2.00	8.00
さい	たま市	報告数	416	193	2	31	53	239	6	2	-	7	1	-	-	5	-	-	-	-	-	5	8
		定点当たり	9.67	4.49	0.07	1.11	1.89	8.54	0.21	0.07	-	0.25	0.04	-	-	0.56	-	-	-	-	-	5.00	8.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

1月 16日 13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患) 報告患者数 年齢別 (2024年第2週 1月8日~1月14日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	4,145	9	58	133	148	188	176	187	165	151	143	154	547	325	533	345	346	288	126	72	51
新型コロナウイルス感染症	2,416	37	40	70	45	42	28	29	30	32	36	30	154	149	324	294	291	343	174	147	121
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	7	-	3	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	242	2	5	32	26	33	41	30	23	13	16	7	7	-	7						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	491	-	1	16	24	37	47	61	49	56	46	38	69	6	41						
感染性胃腸炎	1,181	11	75	208	130	118	104	89	85	72	52	45	85	22	85						
水痘	41	1	2	3	2	2	4	2	2	3	6	4	10	-	-						
手足口病	12	-	-	5	2	-	3	-	-	1	1	-	-	-	-						
伝染性紅斑	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-						
突発性発しん	28	-	7	14	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	4	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	1	1	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	26	-	-	1	-	3	-	3	-	-	-	-	1	-	-	8	3	4	2	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	19	-	2	-	1	-	-	1	-	1	-	1	-	1	1	1	10				
新型コロナウイルス感染症(入院)	75	6	2	1	1	-	1	-	1	-	4	1	1	2	8	5	42				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第51週 (12月18日～12月24日)

令和6年1月17日

## <全国情報>

**インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:** インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(44.43)、宮城県(39.05)、大分県(37.67)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は961例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(45例)、1～9歳(290例)、10代(56例)、20代(12例)、30代(25例)、40代(32例)、50代(47例)、60代(76例)、70代(137例)、80歳以上(241例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(10.69)、山梨県(9.73)、長野県(8.55)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,597例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(38例)、1～9歳(35例)、10代(11例)、20代(28例)、30代(20例)、40代(35例)、50代(94例)、60代(173例)、70代(378例)、80歳以上(785例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** 小児科定点報告疾患(主なもの)RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は北海道(0.41)、山形県(0.21)、島根県(0.17)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(7.55)、富山県(6.45)、福井県(5.76)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(9.95)、山形県(8.39)、福岡県(7.54)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第48週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(12.94)、東京都(10.82)、香川県(10.04)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.57)、宮崎県(1.50)、愛媛県(1.27)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は東京都(0.06)、愛媛県(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.32)、鹿児島県(0.18)、沖縄県(0.13)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位2位は熊本県(0.12)、奈良県(0.09)、岡山県(0.09)である。

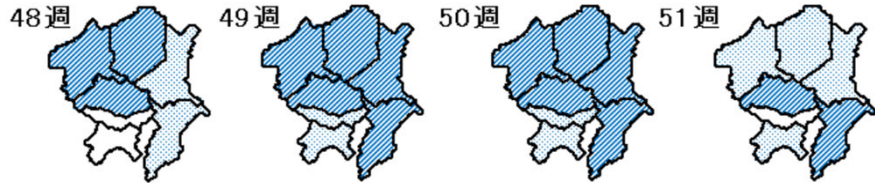
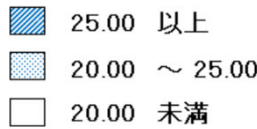
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(0.83)、沖縄県(0.71)、青森県(0.50)、神奈川県(0.50)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は減少した。3都道府県から5例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(2例)、5～9歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年第51週(12月18日～12月24日)、2023年第52週(12月25日～12月31日): 通巻第25巻第51・52合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(25.32)、千葉県(25.30)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2023年 51週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	114,126	33,540	2,861	1,538	2,026	6,582	5,135	7,486	7,912
	定点当たり	23.13	22.09	23.84	20.24	23.29	25.32	25.30	18.08	22.10
新型コロナウイルス感染症	報告数	22,529	6,016	765	388	377	1,199	961	1,296	1,030
	定点当たり	4.57	3.96	6.38	5.11	4.33	4.61	4.73	3.13	2.88
RSウイルス感染症	報告数	187	30	1	2	-	4	10	6	7
	定点当たり	0.06	0.03	0.01	0.04	-	0.02	0.08	0.02	0.03
咽頭結膜熱	報告数	10,411	2,929	168	107	100	769	481	711	593
	定点当たり	3.31	3.06	2.24	2.23	1.85	4.69	3.79	2.72	2.60
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	14,701	5,317	449	169	211	1,155	776	1,510	1,047
	定点当たり	4.68	5.56	5.99	3.52	3.91	7.04	6.11	5.79	4.59
感染性胃腸炎	報告数	20,492	8,296	377	243	319	1,533	980	2,824	2,020
	定点当たり	6.52	8.67	5.03	5.06	5.91	9.35	7.72	10.82	8.86
水痘	報告数	540	171	9	4	4	33	16	52	53
	定点当たり	0.17	0.18	0.12	0.08	0.07	0.20	0.13	0.20	0.23
手足口病	報告数	1,194	281	10	13	38	46	14	87	73
	定点当たり	0.38	0.29	0.13	0.27	0.70	0.28	0.11	0.33	0.32
伝染性紅斑	報告数	43	25	1	-	2	2	1	16	3
	定点当たり	0.01	0.03	0.01	-	0.04	0.01	0.01	0.06	0.01
突発性発しん	報告数	651	184	10	14	20	33	17	52	38
	定点当たり	0.21	0.19	0.13	0.29	0.37	0.20	0.13	0.20	0.17
ヘルパンギーナ	報告数	173	26	2	1	4	3	2	7	7
	定点当たり	0.06	0.03	0.03	0.02	0.07	0.02	0.02	0.03	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	107	36	2	-	4	8	4	6	12
	定点当たり	0.03	0.04	0.03	-	0.07	0.05	0.03	0.02	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	12	7	1	-	-	5	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.03	0.06	-	-	0.12	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	714	257	23	11	10	46	40	35	92
	定点当たり	1.03	1.23	1.35	0.92	0.71	1.12	1.14	0.90	1.80
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	13	3	1	-	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.03	0.03	0.08	-	-	0.08	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	58	18	5	-	1	1	2	3	6
	定点当たり	0.12	0.21	0.38	-	0.11	0.08	0.22	0.12	0.50
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



# 全国・関東情報

第52週 (12月25日～12月31日)

令和6年1月17日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:** インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(44.86)、高知県(36.25)、大分県(35.66)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,212例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(44例)、1～9歳(286例)、10代(74例)、20代(17例)、30代(27例)、40代(26例)、50代(45例)、60代(118例)、70代(233例)、80歳以上(342例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(12.28)、長野県(10.65)、愛知県(9.19)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,942例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(49例)、1～9歳(49例)、10代(12例)、20代(26例)、30代(30例)、40代(44例)、50代(96例)、60代(178例)、70代(461例)、80歳以上(997例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は北海道(0.35)、福島県(0.31)、山形県(0.29)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(6.09)、福井県(5.56)、鹿児島県(5.45)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(7.63)、山形県(7.18)、福岡県(6.27)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(12.31)、愛媛県(9.84)、東京都(9.50)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.39)、鹿児島県(1.22)、奈良県(1.00)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は鹿児島県(0.06)、東京都(0.04)、香川県(0.04)、佐賀県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.19)、奈良県(0.18)、富山県(0.14)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は和歌山県(0.10)、大阪府(0.07)、岡山県(0.06)である。

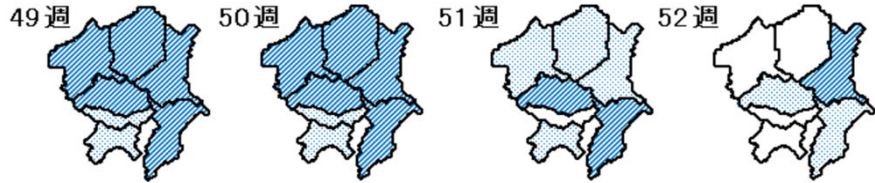
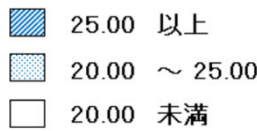
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(1.00)、福井県(0.50)、茨城県(0.38)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は2週連続で減少した。3都道府県から3例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年第51週(12月18日～12月24日)、2023年第52週(12月25日～12月31日): 通巻第25巻第51・52合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(28.15)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2023年 52週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	104,612	29,896	3,378	1,231	1,684	5,434	4,195	7,650	6,324
	定点当たり	21.65	20.88	28.15	16.20	19.36	22.83	23.18	19.22	19.05
新型コロナウイルス感染症	報告数	27,987	6,727	1,051	414	480	1,408	992	1,348	1,034
	定点当たり	5.79	4.70	8.76	5.45	5.52	5.92	5.48	3.39	3.11
RSウイルス感染症	報告数	189	36	2	1	1	5	18	4	5
	定点当たり	0.06	0.04	0.03	0.02	0.02	0.03	0.16	0.02	0.02
咽頭結膜熱	報告数	8,172	2,069	133	95	86	541	307	481	426
	定点当たり	2.65	2.29	1.77	1.98	1.59	3.58	2.69	1.93	1.99
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	11,756	3,947	386	175	214	758	492	1,173	749
	定点当たり	3.82	4.36	5.15	3.65	3.96	5.02	4.32	4.71	3.50
感染性胃腸炎	報告数	16,830	6,366	319	216	253	1,082	620	2,365	1,511
	定点当たり	5.46	7.03	4.25	4.50	4.69	7.17	5.44	9.50	7.06
水痘	報告数	468	182	8	2	6	39	18	51	58
	定点当たり	0.15	0.20	0.11	0.04	0.11	0.26	0.16	0.20	0.27
手足口病	報告数	889	186	4	13	28	21	16	60	44
	定点当たり	0.29	0.21	0.05	0.27	0.52	0.14	0.14	0.24	0.21
伝染性紅斑	報告数	43	24	2	1	1	2	3	10	5
	定点当たり	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02	0.01	0.03	0.04	0.02
突発性発しん	報告数	539	139	6	7	11	25	17	38	35
	定点当たり	0.17	0.15	0.08	0.15	0.20	0.17	0.15	0.15	0.16
ヘルパンギーナ	報告数	86	8	2	-	-	1	-	4	1
	定点当たり	0.03	0.01	0.03	-	-	0.01	-	0.02	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	54	13	-	-	-	2	2	6	3
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.01	0.02	0.02	0.01
急性出血性結膜炎	報告数	7	6	-	-	-	1	-	1	4
	定点当たり	0.01	0.03	-	-	-	0.03	-	0.03	0.09
流行性角結膜炎	報告数	537	187	28	4	5	27	27	40	56
	定点当たり	0.80	0.99	1.65	0.33	0.36	0.77	0.90	1.08	1.27
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.10
無菌性髄膜炎	報告数	16	4	-	-	-	1	-	1	1
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	0.11	0.08	-	0.04	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	36	7	5	-	1	1	-	-	-
	定点当たり	0.08	0.08	0.38	-	0.11	0.08	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県病原微生物検出情報（月報）2023年12月号 2024年1月17日発行

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生动向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

## 今月のコメント

12月に採取されたインフルエンザ検体は121検体で、検査が終了した106検体からAH3亜型が66件、AH1pdm09亜型が32件、A型（亜型不明）が1件、B型が4件検出されました。

## 細菌検出状況

令和5年12月31日現在

病原体名	分離月	10月	11月	12月	備考（12月分）
三類	赤痢菌	3(2)	1(1)		
	腸管出血性大腸菌O157	6	10	3	H7(VT1&2) : 3
	腸管出血性大腸菌O26	1	1		
	腸管出血性大腸菌その他	8	6		
四類	レジオネラ菌	7	3		
	その他			2(1)	つつが虫病リケッチャ <i>Orientia tsutsugamushi</i> (PCR陽性) : 1、 熱帯熱マラリア原虫 <i>Plasmodium falciparum</i> (PCR陽性) : 1 (タンザニア)
五類	侵襲性肺炎球菌	1			
	侵襲性髄膜炎菌			1	<i>Neisseria meningitidis</i> : 1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	9	7	3	<i>Serratia marcescens</i> : 1, <i>Klebsiella aerogenes</i> : 1, <i>Enterobacter cloacae</i> complex : 1
	溶血性レンサ球菌 (劇症型)	2	8	4	<i>Streptococcus pyogenes</i> : 2, <i>Streptococcus agalactiae</i> : 1 <i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> : 1
	溶血性レンサ球菌 (溶レン菌感染症)		2		
	播種性クリプトコックス症	1			

〇内は海外感染例再掲

## ウイルス検出状況

### 全数把握対象疾患

四類感染症	臨床診断名	ウイルス	令和6年1月10日 現在 (累計: 令和5年1月~)				その他のウイルス	
			10月	11月	12月	累計		
四類感染症	E型肝炎	検体数	2	5	2	63		
		E型肝炎検査中		1	2	29		
	A型肝炎	検体数			1	14		
		A型肝炎検査中			1	1		
	エムボックス	検体数		2		21		水痘带状疱疹しん(1)
		エムボックス				19		
	重症熱性血小板減少症候群	検体数		1		3		
SFTS								
デング熱	検体数	2	1		8			
	デング	2	1		7			
五類感染症	臨床診断名	ウイルス	令和6年1月10日 現在 (累計: 令和5年1月~)				その他のウイルス	
急性弛緩性麻痺	エンテロ D68	検体数	14	11	10	231	コクサッキー A4(3), ライノ(2), サイトメガロ(3), ヒトヘルペス 7(1)	
		検体数	2	1	4	87		
急性脳炎 (四類以外)	急性脳炎 (四類以外)	検体数						
		コクサッキー A2				4		
		コクサッキー B5				2		
		パレコ				3		
		ライノ				3		
		サイトメガロ				1		
		ヒトヘルペス 6				1		
		ヒトヘルペス 7				2		
		インフルエンザ AH1pdm09				1		
		インフルエンザ AH3				1		
		パラインフルエンザ 3				1		
		パラインフルエンザ 4				1		
		新型コロナウイルス				1		
コロナ 0C43				1				
検査中				1				
水痘 (入院例)	水痘带状疱疹しん	検体数		1	3	4		
		検体数		1	2	3		
風しん	風しん	検体数	6	4		14		
		検体数						
先天性風しん症候群	風しん	検体数				8		
		検体数						
麻しん	麻しん	検体数	6		6	89		
		検体数						
検査中	検査中	検体数			3*	3		
		検体数						

\*麻しん、風しんウイルスは陰性です。

## 定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ\*

臨床診断名	採取月	令和6年1月10日 現在(累計: 令和5年1月~)												累計	その他のウイルス
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
インフルエンザ	検体数	53	56	48	24	16	20	19	23	87	186	146	121	799	新型コロナウイルス(4)、RS(1)、ヒトメタニューモ(2)、パラインフルエンザ3(1)、コロナ(1)、パレコ(1)、ライノ(1)、アデノ(3)
	インフルエンザ AH1pdm09				1	5	2	4	6	24	65	37	32	176	
	インフルエンザ AH3	50	54	40	20	7	15	13	17	60	117	100	66	559	
	インフルエンザ A							1			1		1	3	
	インフルエンザ B	1	2	7	2	2				1		2	4	21	
検査中												15	15		

\*急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランスの結果を含む。

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

臨床診断名	ウイルス	令和6年1月10日 現在(累計: 令和5年1月~)												累計	その他のウイルス	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
RSウイルス感染症	検体数	12	21	8	7	19	29	68	59	42	16	26	18	20	338	コロナ OC43(1)、ボカ(1)、パレコ(2)、ライノ(5)
	RS				3	2	18	6	4						33	
咽頭結膜熱	検体数			1	1	1	4	2	5			4	4	5	27	
	アデノ 1							1	1						2	
	アデノ 2								2						6	
	アデノ 3			1					1			4	1		7	
	アデノ 4														1	
	アデノ 5							1							1	
感染性胃腸炎	検体数	1	1	3	6	10	6	4	6	5	4	6	3	55	アデノ 40/41(1)、アデノ 1(1)、アデノ 2(2)、アデノ 3(1)、コクサッキー A9(1)、コクサッキー B5(1)、パレコ(8)、ライノ(2)、ヒトヘルペス6(1)、ボカ(1)	
	ノロ	1	1			1	1				1	2		7		
	サボ				2	1	1						2	6		
	アストロ				1	1							1	3		
水痘	検体数								1					1	アデノ 3(1)	
	水痘帯状疱疹													1		
手足口病	検体数			1	1	2	8	4	7	3	2	3	1	32	エンテロ nt(1)、パレコ(6)、アデノ nt(2)	
	コクサッキー A2					1	1							2		
	コクサッキー A4								1	1				2		
	コクサッキー A6												1	1		
	コクサッキー A16			1						2	1	2	1	7		
	エンテロ A71				1			3	2	3			1	9		
	検査中												1	2		
突発性発しん	検体数			2		1	2					1		6	パレコ(1)	
	ヒトヘルペス 6											1		1		
	ヒトヘルペス 7															
ヘルパンギーナ	検体数	1	2		1	5	8	6	2		1			26	コクサッキー B5(1)、エンテロ nt(1)、パレコ(1)、ライノ(1)、アデノ 1(1)、アデノ 2(1)、アデノ nt(1)	
	コクサッキー A2						3	2						5		
	コクサッキー A4					2	1	1						4		
	コクサッキー A5				1									1		
	エンテロ A71						1							1		
流行性角結膜炎	検体数	1	2		1	1		2	2	4		5	6	24		
	アデノ 3									2		1		3		
	アデノ 8								1					1		
	アデノ 37	1				1								2		
	アデノ 53		1											1		
	アデノ 54								1	1				2		
	アデノ 56		1						1	1			1	4		
	アデノ 64				1								1	1		
検査中											3	6	9			
無菌性髄膜炎	検体数	9	16	1	2	6	20	35	13	4	14		5	125		
	コクサッキー A9							1			1			2		
	コクサッキー B5									2	3			5		
	エンテロ A71							1						1		
	パレコ						4	10	6					20		
	ライノ											2		2		
	単純ヘルペス 2					1								1		
	ヒトヘルペス 7								1	1				3		
パラインフルエンザ2											2		2			
検査中												1	1			

## 急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランス

臨床診断名	採取月	令和6年1月10日 現在(累計: 令和5年1月~)												累計		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
インフルエンザ様疾患	検体数	86	85	84	51	85	344	477	417	417	459	368	302	3175		
	新型コロナウイルス	21	19	16	14	40	143	215	198	184	73	55	55	1033		
	インフルエンザ AH1pdm09				1	7	3	5	9	22	67	45	34	193		
	インフルエンザ AH3	48	48	40	20	7	15	13	17	68	121	107	72	576		
	インフルエンザ A								1				1	3		
	インフルエンザ B	1	2	7	2	2					1		2	4	21	
	ヒトメタニューモ				1	1		12	55	42	29	23	11	4	178	
	RS			1		4	1	3	32	48	23	6	4	5	6	133
	コロナ HKU1		4	3	2				1						10	
	コロナ NL63			1	1				2			2			6	
	コロナ OC43				1		2	2	3	1	2	2	5	15	18	51
	コロナ Cor229E												1		1	2
	パレコ								3	12	6	3	3	1	31	
	ライノ				2	4	2	5	22	28	34	36	59	47	13	252
	ボカ				1				24	29	15	7	2	2	80	
	パラインフルエンザ1														1	1
	パラインフルエンザ2									2	11	4	8	6	1	32
	パラインフルエンザ3					1	1	6	28	17	3	3	1		60	
	パラインフルエンザ4						1		12	27	5				45	
	コクサッキー A2								3	1					4	
	コクサッキー A4								4	2					6	
	エンテロ nt									7	4	11	5	2	1	30
	アデノ 1			1						1					2	
	アデノ 3									1				2	3	
	アデノ 5									1					1	
	アデノ nt					1				2	10	10	8	14	19	80
	マイコプラズマ											1	2	2	5	
	検査中														27	

この情報に関してのお問い合わせは、感染症情報センター(感染症疫学情報担当) 0493-59-9325へ

**感染症発生動向調査  
2024年**

▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)

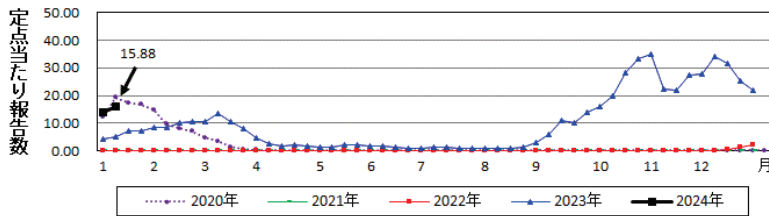
## 感染症の流行状況 2024年 第2週

2024年第2週（1月8日～1月14日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準でしたが、多い状況が続いています。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

インフルエンザ(埼玉県)



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↑	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↓	★★★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン